



芸術鑑賞会（演劇）を開催しました。

芸術鑑賞会を10月24日（月）に本校体育館で開催しました。

本校の芸術鑑賞会は3年に1度開催され、生徒は在学中に一度何かの芸術に触れることになっています。今回は演劇を鑑賞しました。劇団は全国の学校を回って巡回公演をしている「劇団マグネットワールド」で、演目は「地雷探知犬ニーナ NEENA」でした。

世界の紛争地帯では今なお地雷が数多く残っており、地雷の被害に遭っている子どもが後を絶たない現実に対して、地雷除去に奮闘する地雷探知犬と日本人家族の姿を通して社会問題を提起するとともに、平和や戦争、家族、ボランティアなどについて考えさせられる内容でした。生徒も何らかのメッセージを受け取ってくれたことと思います。プロの芝居を目の当たりにし、照明や音響による演出の効果も相まって、引き込まれるように観ていた姿が印象的でした。劇団マグネットワールドの皆さん、ありがとうございました。

以下に生徒の感想を紹介します。

- 今回の地雷探知犬 NEENA を鑑賞して、とても感動しました。私たちが平和に暮らしている一方で他の国は地雷や戦争でたくさんの負傷者や死人が出ていて悲しい気持ちになったし、昔戦争で使っていた地雷が今もあるということに驚きと同時にそんな国で怯えながら暮らさないといけないう人がいるのは恐ろしいと思いました。そんな国でボランティアとして協力している方々達は本当に凄いと思います。今回、実際に起こっている出来事を再現していただき良かったです。
- 今回地雷探知犬 NEENA を観劇して特に印象に残ったシーンは、リッキーが地雷を踏んでしまったシーンです。自分を犠牲にして飼い主を助けたリッキーの優しさに感動しました。本物の犬が登場したシーンもとてもびっくりしました。今なお地雷で苦しんでいる人々のことを考えると胸が痛いです。この劇を通して地雷の怖さや命の大切さがよくわかりました。戦争は絶対にあってはならないことだなと思います。

- 今回のこのような劇を学校で見れるとは思えなかったので迫力がすごかった。タイトルから感動する話だと思ったのでタオルを持参した。戦争中の事はよく平和学習でしてきたけど、地雷のように今でも続くことを教えてもらったことは少なかったので興味深かった。途中まで笑えるところもあったけど後半は家族の大切さや生き物の命など沢山のことを考えさせられることがあった。
- 地雷の恐ろしさを知りました。看護師になり現地に行って地雷により身体や心が負傷した方々の手助けをしたいと思いました。動物と人間との絆を感じ、とても感動しました。
- リッキーが地雷を踏んでしまったときに、地雷が不発弾でハッピーエンドで終わるのかなと思ったけど、リッキーが亡くなってしまって意外な展開でした。最後に実際に地雷によって手や足をなくした現地の人達の写真が映し出されていて本当に地雷で恐ろしいなと思いました。
- 生だと凄く迫力があって面白かった。音楽の大きさの調節が凄く上手だった。一人一人役に入り込んでいて、凄く引きずり込まれる作品だった。最初の始まりからインパクトが強く面白かった。照明の色が怖いとか面白いとか暖かいなどの表現をしてくれてとても良かったです。
- 私はあんまり地雷のことを知らなくて、最初は興味無いなと思ったけど後半から面白かった。こんな私だけ地雷のことをもっと知ろうと思いました。犬が会話をしている所もとても面白かったです。あと最初のダンスがとてもカッコよかったです。私も劇団をしたいと思いました。
- とても面白く、登場人物の個性的で、地雷を通じてどんどん成長していく姿にとっても感動しました。自分の大切な人が死んだのに悲しみに暮れる時間が少ないこと。地雷があるとわかっててもそこに入らなきゃいけないほどお金がないこと。戦争は終わったのに未だに心も体も傷ついている人が数多くいる。こんな馬鹿げていることが今の世界なんだと、地雷や戦争は恐ろしく残酷なことを改めて学ぶことが出来ました。

